

備前市事務事業評価シート

(平成21年度事業)

事業の概要		平成17年度		根拠法令・例規等	備前市特定疾患医療附帯療養費 交通費補助金交付要綱
事業開始年度		平成17年度			
総合計画	大項目	基本目標	02	健康でやさしさあふれるまちづくり	
	中項目	基本施策	01	やさしさあふれるまちづくり	
	小項目	施策	03	障害者(児)福祉	
	事務事業名		15	特定疾患医療附帯療養費交通費補助事業	
			担当課(室)	社会福祉課	
			職・氏名	係長・大道健一	
			電話	64-1824	
			このシート作成に要した時間		0.5時間

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	特定疾患の患者
目的(何のために)	特定疾患の患者に対し、受診医療機関への交通費の補助を行うことで経済的負担も軽減を図る。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	特定疾患の患者に対し、受診医療機関への交通費の補助を行うことで経済的負担を軽減する。

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性の評価を行って下さい

事業の実績			
細事業名	事業の説明	優先度	
特定疾患医療附帯療養費交通費補助事業	特定疾患についての医療で通院する交通費の一部を補助する。	○	

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい

事業費等		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
決算額	直接事業費		1,844	1,673	1,799
	必要人員	千円	0.14人	0.07人	0.07人
	事業費計		2,831	2,194	2,129
財源	国県支出金				
	受益者負担				
	繰入金債				
	その他( )				
一般財源			2,831	2,194	2,129
受益者負担比率		%	-	-	-
結果指標名		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
結果指標	交通費補助件数	説明	交通費補助の決定件数		
	結果指標量	件	186	173	193
	対前年比	%	-	93.0%	111.6%
	活動コスト	円	2,831,000	2,194,000	2,129,000
	単位当たりコスト	円	15,220	12,682	11,031

事業の成果					
成果指標名	年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度目標値
交通費補助件数	目標値(A)				
	実績値(B)	186	173	193	到達目標値
	達成率(B/A)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
成果指標設定の考え方・式や説明					
申請に基づく事業のため、目標値の設定は困難。					

事務事業の評価			
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input checked="" type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきた <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 <A~E> <b>C</b>
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託等)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 <A~E> <b>B</b>
有効性の評価	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 <A~E> <b>B</b>	

留意事項(注)の目的やその数値の評価指標を用いて下さい

進行年度(H22年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
状況		○				
説明	昨年度申請者が増加したので、昨年度同様に広報等で周知を徹底していく。					

総合評価		評価区分 <A~E>	
広報等での周知により申請者の増加に繋がった。今後も継続して対象者への周知を徹底していく。		<b>B</b>	

平成23年度の方向性及び取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
方向性		○				
取組目標	市独自の取組で申請者も多いため、現状を継続していく。					